

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能矯正学各論 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学 期	後期	教室名	
担 当 教 員	三辻真由美				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として視能検査、訓練に従事している				
《授業科目における学習内容》					
内斜視、外斜視などの斜視の各型、麻痺性斜視他特殊斜視について臨床的特徴を学び列挙出来るようになる					
《成績評価の方法と基準》					
本試験評価80% 平常点20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版 丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 編集:文光堂 視能矯正学第3版 丸尾敏夫 編集:金原出版					
《授業外における学習方法》					
教科書を読み理解を深める					
《履修に当たっての留意点》					
各種斜視の基礎となる内容ですので講義の復習やまとめをしっかり行い知識の定着を行ってください					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	眼位の違いについて説明できる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	正位、斜視、斜位の違い			
第2回	授業を通じての到達目標	内斜視の先天性、後天性の違いについて説明できる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	先天性内斜視、後天性内斜視			
第3回	授業を通じての到達目標	調節性内斜視について説明できる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	調節性内斜視、部分調節性内斜視			
第4回	授業を通じての到達目標	調節性内斜視との違いについて説明できる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	非屈折性調節性内斜視、非調節性輻輳過多型内斜視			
第5回	授業を通じての到達目標	間欠性外斜視の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	間欠性外斜視、その他外斜視			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	微小斜視、偽斜視の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	微小斜視、偽斜視の説明ができる		
第7回	授業を通じての到達目標	交代制上斜位の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	交代制上斜位の説明ができる		
第8回	授業を通じての到達目標	A-V斜視の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	A-V斜視		
第9回	授業を通じての到達目標	第8回までに学んだ内容をアウトプットする	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	前半まとめ問題を解く		
第10回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	核上性、核・核下性斜視		
第11回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視の説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	動眼神経麻痺、滑車神経麻痺、外転神経麻痺、全外眼筋麻痺		
第12回	授業を通じての到達目標	Duane症候群について説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	Duane症候群		
第13回	授業を通じての到達目標	その他斜視、特殊斜視について説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症、Brown症候群、固定斜視ほか		
第14回	授業を通じての到達目標	その他斜視、特殊斜視について説明ができる	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	甲状腺眼症ほか		
第15回	授業を通じての到達目標	第10～15回までで学んだことをアウトプットする	視能学、視能矯正学	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	後半のまとめ問題を解く		